

第26回インターフェックスジャパンきょう開幕

医薬・化粧品・洗剤の研究開発・製造技術国際展示会「第26回インターフェックス ジャパン」(主催:リード エグジビション ジャパン)が7月10~12日の3日間、東京ビッグサイトで開かれる。研究・開発から原料加工・製造・物流・搬送まで医薬・化粧品・洗剤に関する機器やシステム、技術が一堂

に紹介。医薬品を中心としたヘルスケア製品の包装資材・機械の展示会「第9回医薬品包装EXPO」が併催され、原薬・中間体・添加剤・受託合成などのサプライヤーが出展する国際専門展「第7回医薬品原料国際展」も同時開催される。開催時間は午前10時~午後6時(12日は午後5時まで)

7月10~12日の3日間、東京ビッグサイトで

過去最高の970社が出展

会場もカテゴリー別にゾーニング

世界有数の規模を誇る今回のインターフェックスジャパンは、医薬品原料国際展を含め、過去最多の970社が出展する。原料・成形・加工・包装・物流といった医薬・化粧品・洗剤に関する入り口から出口までの最新機器と情報が網羅されているのが本展示会の最大の特徴だ。

実機の出展や実演をする出展者も多い。来場者は製品の良さや特徴を実感でき、仕様やコストなど具体的な技術相談や商談をその場で行うことも可能だ。

会場は来場者が見学しやすいようにカテゴリー別にゾーニングされる。

東京ビッグサイトの東1ホールから「医薬品原料・国際展」「製薬用水製造・管理ゾーン」「滅菌・クリーン化ゾーン」「ラボ用測定・分析ゾーン」「バイ

オ医薬ゾーン」と研究開発関連分野が展示される東2ホールに続く。

東3ホールは「供給・輸送」「原料加工」の製造分野が展示され、東4ホールが「受託製造ゾーン」「ITソリューションゾーン」「プロセス測定・検査ゾーン」「物流・搬送ゾーン」だ。

同時開催の「医薬品包装EXPO」が東5・6ホールで展示される。来場者は医薬品などの研究開発・製造といったプロセスに沿った見学が可能で、またお目当ての分野に直行するにも便利な配置構成となっている。

出展物には新製品も多く、製品開発を本展示会に合わせるなど出展者の意気込みが感じられる。「7自由度」を持つオールステンレスロボットや強制薄膜式フ



実機の出展や実演をする出展者も多く、来場者は製品の良さや特徴を実感できる

ローリアクター、10⁷(1⁺は10億分の1)から~3000⁷(1⁺は100万分の1)というスーパーワイドレンジを実現し

たレーザー回折・散乱式粒子径分布測定装置など世界初の製品なども興味を引きそうだ。

連日開催される好評の専門技術セミナー

もう一つの見どころは医薬品業界の今とこれからを知ることができる基調講演と専門技術セミナーが連日開催される。

基調講演では「日本製薬産業 飛躍へのキーは？」をメインテーマに岩本太郎・大塚製薬社長が「Our Quest for

Growth 成長とは何か?大塚製薬の挑戦:イノベーションを具現化する企業であり続けるために」、トニー・アルバレ

ズ・MSD社長が「グローバルヘルスケア企業MSDの成長戦略」、酒井文義・クレディ・スイス証券株式調査部ディレクターが「医薬品業界への期待と課題~イノベーションと医療財政を問う」をそれぞれテーマに講演する。

RACOON

洗浄からクリーン環境の創造までトータルにお応えします

製薬・ラボ向け洗浄・滅菌システム

バイアル瓶洗浄機

ASL型 最新型

少ロット・多品種少量を扱う
ラボ用に最適です
特殊ノズルを開発いたしました



クリーン気液混合噴射の特殊ノズルによる精密洗浄を実現。この脱屑式特殊ノズルの開発によって異物の発生をなくし、メンテナンス性を一段と高めました。

医療用容器の洗浄受託

最高の設備と技術でお応えします。

洗浄・滅菌・異物検査など
クリーン化・無菌化技術を
実感下さい



容器・ロット・プロトコルなどご相談下さい。
アウトソーシングに是非、弊社の技術を活用いただき商品開発にお役立て下さい。



三田理化学工業株式会社

本社 〒531-0076 東京都北区大塚4-2-8-2
 TEL (03) 6458-0971 (代)
 FAX (03) 6458-2393

Webサイトにも、充実した情報が満載です

バイアル瓶 洗浄

三田理化学工業オフィシャルサイト

<http://www.racoon.co.jp/>

滅菌製品

ラックンステリマート

<http://www.strei-goods.com/>

主要出展各社紹介

三田理化工業

2012年に無菌医療機器製造を目指し竣工した新開発センター（兵庫県西脇市）が順調に稼働。環境・設備・人材が一体となった洗浄・滅菌システムにより、高品質の製品を提供している。

環境・設備・人材の3要素について、日々の改善活動で消耗品事業のレベルアップを図るとともに、ユーザーの新製品や新分野開発への協力を推進。また、同社の製品市場が国内にとどまらず海外へ広がっているため、医療機器の品質保証のための国際規格「ISO13485:2003」の認証取得に向けての取り組みを始めている。



新開発センター

学識経験者が事例を交え解説

来場者へのサポートも充実

また、専門技術セミナーでは「バイオ医薬品の開発動向と最新設備事例」「品質保証の最前線」「いよいよ迫るPIC/Sへの加盟に向けて」など10のセッションが予定されている。各分野のキーパーソンが講演し最新動向を解説する。各分野の担当者にとってはまたとない情報収集の機会となるだろう。

若手実務者を対象にした「基礎講座」も開設される。「QbDアプローチの基礎知識」「GMP超入門」「打錠障害改善における基本ポイント」「生物学的同等性試験の概説と実施方法」「注射剤の

製剤設計」「医薬品コクリスタルの基礎と製剤学的応用」の6講座が用意されており、医薬品業界の基礎知識・スキルアップを図りたい来場者にとっては注目の講座だ。

同時開催される「医薬品原料国際展」と「医薬品包装EXPO」でも、話題のテーマによるフォーラム・セミナーがめじろ押しだ。

医薬品原料フォーラムでは「医薬品プロセス開発における合成技術力の重要性」「原薬開発における高リスク不純物の管理戦略」「医薬品開発におけるスケ

ールアップのポイント」など6セッションが設けられ、製薬会社の研究・技術担当者や学識経験者によりポイントの解説が行われる。

医薬・化粧品物流フォーラム・ITソリューションフォーラムでも「治験薬直送における保管と輸送の品質管理」「真の業務効率化を求めて」など、製薬会社の物流・IT担当者が自社の事例を交えわかりやすく解説する。

いずれも身近な話題が取り上げられており来場者のソリューション、問題解決の一助となりそうだ。



具体的な技術相談や商談なども含めてビジネスチャンス拡大へ

最新情報の収集、具体的な技術相談や商談が数多く行われてきた実績が評価され、製薬・化粧品・洗剤に従事する関係者には見逃せないイベントに成長しているインターフェックスジャパン。今回は3万5000人の来場者が見込まれており、多数の関係者でにぎわいを見せそうだ。

ぜひ ご来場ください

世界有数の医薬・化粧品 専門技術展

第26回 インターフェックス ジャパン

医薬品 化粧品 洗剤 研究開発・製造技術国際展

第7回 医薬品原料 国際展

インファーマ ジャパン

※ 2013年7月10日[水]~12日[金] ※ 東京ビッグサイト
開場時間: 10:00~18:00 (最終日は17:00まで)
主催: リード・エグジビション ジャパン株式会社

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-2799-8200 FAX: 03-2799-8201 www.interfeex.jp